

クロラントラニプロール・ジノテフラン粒剤 フェルテラスタークル箱粒剤 CU	取扱メーカー： 三井アグロ 原体メーカー： FMC, 三井アグロ
成分： クロラントラニプロール〔アントラニリックジアミド系〕…0.75% ジノテフラン〔ネオニコチノイド系〕……………6.0%	性状： 類白色細粒 毒性： 普通物 消防法： ——

【品目特性】

●クロラントラニプロールとジノテフラン、作用の異なる2つの有効成分を組合せた水稲用箱処理殺虫剤。

●近年ダラダラと長期間発生するイネドロオイムシや、忘れた頃に海外から大量飛来するコブノメイガ、葉が巻くとなかなか葉が届かないイネネットムシからはクロラントラニプロールがイネをしっかりと守る。

●有効成分ジノテフランを従来剤の3倍、6%配合。有効成分のリリースコントロールも根本から見直した。縞葉枯病ウイルスを運ぶヒメトビウンカや、長期間飛来し続けるトビイロウンカ、セジロウンからイネを守る。

●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一覧」を参照。

【使用上のポイント】

●育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水してから田植機にかけて移植する。

●本剤を床土又は覆土に混和処理する場合、処理後速やかに使用する。また本剤を処理した床土を放置しない。

●葉先枯れなどの葉害を生じることもあるので、散布ムラがないよう均一に散布する。

【安全対策上の注意】

●眼に対して刺激性があるので、眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受ける。

●甲殻類に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に流入しないよう水管理に注意する。

●空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理する。

【適用と使用法】

作物名	適用害虫名	1箱*当り 使用量	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	クロラントラニプロール を含む農薬の総使用回数	ジノテフランを含む 農薬の総使用回数
稲 (箱育苗)	ウンカ類 イネミズゾウムシ イネドロオイムシ ニカメイチュウ コブノメイガ フタオビコヤガイ イネネットムシ	50g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する。	1回	4回以内 (育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)
			は種時覆土前～移植当日				
	ツマグロヨコバイ イネクロカメムシ イナゴ類		移植3日前～移植当日		育苗箱の上から均一に散布する。		

* 育苗箱は30×60×3cm、使用土壌約5ℓ